

老若男女、各分野で活躍するさまざまな「四日市人」取材して、その人の言葉で四日市の魅力などを読者に伝えるコーナーです。

■CTY「ちゃんねるよっかいち」でも紹介します。

日時：6月11日～7月10日
月水金日 9：30・20：30
火木土 12：30・20：30

■CTY-FMで毎月第2・第4日曜日放送の「よっかいちわいわい人探訪！」でも紹介します。

日時：6月11日・25日
8：54・14：54



藤谷俊文さん・竜大さん

三重地区の消防分団員として、地域のために活動する藤谷さん親子。親子二代で地域の防災活動を支える俊文さん（分団長・左）と竜大さん（右）に、普段の活動や、生まれ育った地域に対する思いなどをお聞きました。

○三重を守る！熱い思い

三重地区は小学校が4つあるなど、とても広い地区です。各自治会の防災訓練なども数が多く、大変ですが、20人いる分団員が交代で出動しています。いざというときは、自分のことは自分で守る「自助」が大事です。火事などで悲しい思いをしないように、例えば「火元を確認しましょう」など、普段の呼び掛けを大切にしています。火事のない地域であってほしいですからね。



また、団地が多く、一人暮らしの高齢者も多いので、何かあったときには念入りに広報したり見回ったりするなど、団員一同で気を配っています。

○分団長として、親として

（俊文さん）25歳の時に消防団に入団しました。地域のために、災害に遭った人を助けられるようにとの思いで、活動しています。消防団は怖いところじゃないので、ぜひ、各地域の消防団に入る人が増えてほしいですね。

息子も、私と同じ年齢で入団しました。自分は段々と現場に出るのも体力がついていかななくなっているの、息子には1年でも長く、消防団員を務めてほしいと思っています。



○地域社会への貢献

（竜大さん）消防団は、いろいろな仕事をしている人と知り合えますし、顔を覚えてもらえるので楽しいです。三重地区をはじめ、他の地区もいい人が多いですよ。

普段、地域の人に支えてもらっている恩返しのためにも、防災に努め、この地域の火事が一つでも減ればと思っています。燃えてしまったら、家は建て直しても、思い出は返ってきませんから。



○消防操法競技大会に向けて

なかなかメダルに手が届かないので、もう一歩だと気合いが入っています。目指すのはもちろん、優勝です。

まずはけがをせず、ベストを尽くせるよう、練習に励んでいきます。



第54回四日市市消防団消防操法競技大会

開催日や内容など、詳細は決まり次第広報よっかいちなどでお知らせしていきます。

ぜひお越しいただき、消防団の活動を身近に感じてください。

消防団マスコットキャラクター「ユリー」



有料広告掲載欄

建設職人なら誰でも入れる組合です



随時加入者募集中
建労
四日市支部

三建国保

出産育児一時金（42万円）
葬祭費（本人10万円・家族7万円）
高額療養費、無料健康診断の開催
人間ドックに対する補助（3万3千円）
脳ドックに対する補助（2万円）など

組合独自の建設労働者の健康保険

三重県建設労働組合四日市支部 四日市市ときわ5丁目1-8 ☎(059)354-1531(代)

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。